

## 年 頭 の ご 挨拶



新たな年にあたり、ご挨拶を申し上げます。  
皆様方には日頃より当法人の事業経営につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は第三次中期経営計画（令和四年度から令和八年度の五年間）の初年度になります。この「経営計画」の重点項目の中でも「地域貢献活動の積極的な実施」と「多様なニーズに対応できる専門人材の育成と多様な人材の活用と確保」を最重点として具体的に取り組むことができました。

十月に「アクティビティセンター・コミュニティホールさいふ」が完成し、スタートすることができました。人材確保と育成のための研修やホールの地域開放と地域との交流、そして災害時の福祉避難所等に使用する多目的ホールと障がいの重度化・高齢化した入所者や多様な障がいのある通所者への対応のための通所者棟の整備を行うことが出来ました。

また、十一月には、法人の地域貢献事業として、今回は、すみれ園卒園児を対象とした「障がいのある子供の子育て家族への交流の場の提供」を実施しました。子育て中の親子の孤独感や不安の増大等に対応するための、子育てに関する相談・援助や親子交流と親同士の仲間づくり等を実施しました。

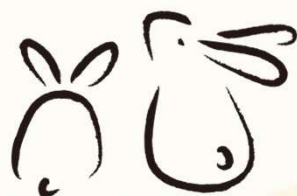
人材確保・定着と専門人材の育成では、OJT研修の充実や重度障がいや行動障がいに対する外部研修、ケース検討会等の実施、役職マネージャーのフォローアップ研修の実施に取り組むことができました。

今年は、干支の「癸卯」、「これまでの努力が花開き、実り始める」という意味を信じて、原点に返り努力を続けたいと思っております。

今年は目標を絞って、まずは、人材の育成として、「法人理念の具体化と浸透の体質づくり」、二つ目は「各拠点管理業務の確立と業務の標準化・サービスの標準化とサービスの向上」、この二つの目標に集中して取り組むことで飛躍を目指したいと思っております。

法人のモットーである「一人ひとりを大切に」を常に実践し、地域や利用者の皆様の多様な福祉ニーズに、しっかり向き合って、応えていくことに、努めていきたいと思っております。

今後とも、障がい福祉の理念に基づいて、誠実で質の高い福祉サービスの提供に努めて参りますので今後ともよろしくお願いを申し上げます。



令和5年1月  
社会福祉法人 宰府福祉会  
理事長 草本 武俊